

開設者名	講習の名称	取り扱う事項	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	主な受講対象者			受講人数
							学校種	免許職種、教科等	職務経験等	
1	【選択必修】適応力向上のための指導と方法	教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む。)	多様な価値観や個性を持つ児童・生徒が学校生活に適応するには、学校の教育体制のみならず、児童・生徒自身が感情や行動を適切に操作する技能を得る必要がある。インクルーシブ教育やチーム学校の推進という動向を踏まえ、児童・生徒の適応力向上に役立つ非認知的能力(情動スキル・共感スキル・問題解決スキル等)の育成指導方法を学ぶ。さらに学校の教育体制の観点から、児童・生徒の適応に関する支援の在り方を議論する。	松本 有貴 原田 耕太郎	6時間	令和2年8月4日	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	30人 ↓ 20人
2	【選択必修】非行の理解と指導	教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む。)	まず、児童生徒の問題行動に関わる制度と法令、いじめを含む非行問題を理解するため、それらが発生する機制といった基本的な理解を深める。さらに具体的な非行事例の検討、そして非行のある児童生徒の指導法等を検討することによって、非行の予防、問題が生じた際の対応等、学校における教育相談活動の充実を図る。	小坂 清文 原田 耕太郎 青木 宏 中津 達雄	6時間	令和2年8月4日	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	40人 ↓ 20人
3	【選択必修】相互理解による学校・家庭・地域の連携	学校、家庭及び地域の連携及び協働	少子化、高齢、過疎化などにより、家庭や地域による教育機能が低下し、児童、生徒のコミュニケーションあるいは協調性といった能力が低下傾向にある。教員と保護者の組織的な連携体制や地域の自治会や子供会、老人クラブや企業などとの連携も必要である。本講習で背景の違う参加者同士で意識の共有や発展的な議論を学ぶ。また、具体的なイベント企画を提案しグループディスカッションを通じて、多面的な発展や協力について学ぶ。	水野 貴之	6時間	令和2年8月4日	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	30人 ↓ 20人
4	【選択必修】学校を巡る状況の変化と危機管理	学校を巡る近年の状況の変化 学校における危機管理上の課題	前半は、学校をめぐる昨今の諸問題を、今世紀になって注目を集めている「ケア」の観点からとらえなおし、これを学校・家庭・地域社会の連携による「地域ケア」にまで拡大して、実践例を紹介しながら、問題解決の方法として考察する。後半は、授業・学校行事・部活動中の事故、施設の瑕疵による事故、いじめ・自殺未遂等の未然防止のための基本的な考え方や基礎知識について学ぶ。	立山 善康 島田 政輝	6時間	令和2年8月4日	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	40人 ↓ 20人